

Weekly Bulletin 2021-2022



RI会長
シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

静岡東ロータリークラブ

会長／川崎依子 幹事／長田きみの

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川崎依子

第3008回例会

令和4年1月6日(木)

《司会》長田 きみの君

《合唱》「君が代」 「奉仕の理想」

《ソングリーダー》 中嶋 達郎君

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》 該当者なし

《会長挨拶要旨》 川崎依子会長

皆さま、あけましておめでとうございます。令和4年の幕が開けました。コロナ感染者が再び増えてきましたが、感染対策をしっかりしてロータリー活動を続けていきたいと思えます。

今年は寅年、私の家族には亡き父96歳、下の妹還暦、そして男女の孫二人が12歳と4人の寅年が揃っています。虎は大切に子育てするとのこと、子孫繁栄することを願っています。さて、1月4日の静岡新聞のコラムをお読みになりましたか？ 虎に子供が3匹生まれるとその内1匹はヒョウで、親が見ていないときょうだいの虎を食べてしまうそうです。親虎はこの3匹を向こう岸に渡さなければならないのですが、1度に1匹しか運べない。昔このようなクイズが流行りましたよね？ これは中国の説話に由来する「虎の子渡し」と言われ、苦しい生計をやりくりするたとえに使われるそうです。

親虎はまず子ヒョウを向こう岸に渡す。次に1匹目の虎の子を運び、この帰りに子ヒョウを元の岸に戻し、2匹目の虎の子を運ぶ。最後にもう一度子ヒョウを向こう岸に運ぶと完了します。

会社で、あるいは家庭で、何を虎に、何をヒョウに例えるかは頭の体操になりそうです。岸田政権では2匹の子虎は「新型コロナ制圧」と「経済立て直し」、子ヒョウは2021年度末で1千兆円を超える見通しの国債発行残高などの「財政健全化問題」でしょうか。何としても親子とも急流に流されず、無事に渡りきらなければなりません。虎の生態を調べると、親虎は母親だと思われまふ。ここに父親の虎もいて夫婦2頭でやれば、子渡しは別の手順で手早く安全にできることでしょうか。岸田政権も多くの人材の知恵と連携で難局を乗り切って欲しいものです。

《歳男・歳女スピーチ》

島 武志君

ところで、「干支(えと)」という言葉の意味、正しく理解していますか？

もしかしたら「干支」の意味を正しく理解していない可能性、ありませんか？というわけで、まずは「干支」についてのお話から。

古代中国の殷では、10個の太陽が存在してそれが毎日交代で上り、10日で一巡りすると考えられており、十干はそれぞれの太陽につけられた名前とされる。そこから、甲、乙、丙、丁…と、日を順に10日ごとのまとまりで数えるための呼び名として用いられる。その後、万物は「陰」と「陽」の2つに分けられ、「木」「火」「土」「金」「水」の5つの要素でできているという、陰陽五行説を十干に当てはめるようになる。

日本では「陽」を「兄(え)」、「陰」を「弟(と)」に見立てました。「木(き)」「火(ひ)」「土(つち)」「金(か)」「水(みず)」にそれぞれ「陰陽」があり、例

えば甲は木の兄で「きのえ」、乙は木の弟で「きのと」と読ませます。

・甲（きのえ）・乙（きのと）・丙（ひのえ）・丁（ひのと）・戊（つちのえ）・己（つちのと）・庚（かのえ）・辛（かのと）・壬（みずのえ）・癸（みずのと）ここから、干支の読み方が「えと」になったようです。というわけで、今年の干支は「**壬寅（みずのえとら）**」で「**陽気を孕み、春の胎動を助く**」年です。加えて「**五黄（ごおう）の寅**」年と呼ばれる

「五黄の寅（ごおうのとら）」は十二支と古代中国の民間信仰である九星（きゅうせい）を組み合わせたもので、九星の「五黄土星（ごおうどせい）」と十二支の「寅年」が重なることをいいます。

五黄の寅の年に生まれた方は、五黄土星の「周囲を圧倒するパワー」と寅年の「強い正義感と信念、行動力」をあわせ持つ強い運勢を持つと考えられているのです。36年に一度の年回りです。要するに「**いい年**」です。

今年の目標は3つ。1、支店開設。2、新規分野を開拓。そして日本のどこかを自転車一周すること。本年もよろしく願いいたします。

山川 雅久君

私は1962年11月11日生まれで、今年還暦を迎えます。

少し前までは自分が還暦になる事を想像出来ませんでした。あっと言う間にその時は来ますので、若い方は、今のうちに出来る事をやっておいた方が良いでしょう。この機に、自分の60年を寅年毎に振り返ってみました。1962年札幌で誕生。東京タワーが完成した年です。

次の寅年は1974年で、小学生5、6年生でしょうか、札幌で遊んでばかりいました。子供だから当然ですね。次は1986年、社会人成りたてで、東京でこれまた遊んでばかりいました。仕事では、製紙機械を扱っており、フィンランドから省エネ装置を輸入販売していました。

次は1998年、東京から札幌に転勤となった年です。札幌で札幌市の協力を得ながら、地元の廃棄物業者と

共同でペットボトルのリサイクル事業を立ち上げました。今でもこの企業は操業しています。

2010年、東京で廃木材からバイオマスエタノールを製造する事業を立ち上げました。

自動車燃料向けでCO2排出削減が目的の当時は画期的な取り組みでした。また、太陽光発電モジュールの製造ライン販売に組み、その後メガソーラー事業の立ち上げへと繋がっています。

そして、今年2022年は、ここ静岡勤務4年目となり、以前プレゼンをさせて頂いた、循環型食器「edish（エディッシュ）」の取り組みなどを行なっています。社会人生活の大半を、SDGs、環境対策ビジネスに関わってきたのだなと感じています。理想的であっても、なかなか実商売に繋がらない分野ではありますが、**子供たちの将来の為にも、今年も目標も環境対策、SDGs 関連の新たな取り組みを実現してみたいと考えています。**

《スマイル報告》

原口 翼君 新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。新しい年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますように。

榛葉 英二君 今年一年の皆様のご健勝とご健康、そしてコロナ退散を祈念して。

川口 尚宜君 本年コロナが5類になり、インフルエンザ同様になることを祈念して。

長田 きみの君 年末の例会ありがとうございました。諸先輩方が紡いできた歴史に感動しました。由利さんの願いである東クラブのガバナー輩出。相原ガバナー誕生まで見届けたいと思います。

山川 雅久君 歳男、還暦、厄年の3カードにスマイルします。今年もスマイルよろしく願いします。

《出席報告》

12月の暫定出席率は86.2%になります

(会報作成 鍋田 知佐人)